

教科	数学	科目	数学A	開講学期	前期	単位数	2	試験	前期
タイプ	Ⅱ	レポート数	6	スクーリング必要時数		2	スクーリング実施時数		10

教科書(発行者)	改訂版 新数学A(東京書籍)
補助教材(発行者)	新数学A学習書(東京書籍)

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指す。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動について認識を深め、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	場合の数	第1・2回	前期
	第2回	場合の数	第2・3回	
	第3回	確率	第4・5回	
	第4回	平面図形の基礎 ・ 三角形の性質	第6・7回	
	第5回	円の性質	第8・9回	
	第6回	円の性質 ・ 空間図形	第10回	